

R5年5月放送分
「東北防衛局の地方協力確保事務」
(日本の防衛Q & A)
(自衛隊百科)

R5.4.28 収録

【パーソナリティー】

本日は、東北防衛局の地方協力確保事務をテーマに、東北防衛局から職員2名の方にお越しいただきました。よろしくお願いします。

【職員2名】

よろしくお願いします。

【パーソナリティー】

では、はじめに自己紹介をお願いします。

【橋本】

はい、地方協力確保室長の橋本です。出身は北海道です。よろしくお願いします。

【佐藤】

同じく地方協力確保室の佐藤です。採用4年目でこの4月に異動になりました。出身は野馬追の里、福島県相馬市です。よろしくお願いします。

【パーソナリティー】

こちらこそ、よろしくお願いします。それでは、今回のテーマの地方協力確保事務について、お話をお願いします。

【橋本】

私たちは、地方協力確保事務という業務を行っておりますが、この業務については、これまでも市川局長をはじめ、若手職員からも度々お話ししてまいりましたが、改めてご紹介させて頂きたいと思っております。

まず、自衛隊や在日米軍の活動が円滑かつ効果的に実施されるためには、地方自治体や地域住民の方々のご理解とご協力が大変重要です。

そこで、防衛省では毎年、地方協力確保事務基本計画というものを策定しまして、それに基づき地方防衛局では、各地方協力本部や関係部隊とも連携しながら、各種施策を行っています。

この各種施策には、大きく分けて、3つの業務があります。

一つは、自衛隊や米軍に関する事案について、関係する地方自治体や地域住民の方々にご説明や連絡調整などを行うことです。

具体的には、自衛隊の部隊の改編や装備品等の配備、訓練の実施や施設の整備などがある場合、また、米軍施設の整備や米軍の訓練の実施がある場合は、全体的なスケジュールを踏まえて、計画的に地方自治体等に対して、ご説明や連絡調整をしています。

このほか、自衛隊や米軍に関わる事件・事故で、社会的影響が大きいと判断される事案が発生した場合についても、連絡調整を行う体制を構築しています。

【パーソナリティー】

なるほど。

【橋本】

二つ目は、各種の非常事態が発生した場合に、円滑に対応できる態勢を構築することです。

日頃から、地方自治体の防災訓練や会議、自衛隊・米軍の訓練などを通じて、防衛局の役割や能力をお知らせしているところですが、事態発生の際は、速やかな情報収集に努めて、当局職員の有する知見や日頃の業務で構築した地方自治体や自衛隊及び米軍との緊密な関係を活用して、対処しています。

例えば、東日本大震災の時には、米軍の「ともだち作戦」の通訳支援を実施したり、宮城県からの要請を受けて遺体安置所の支援なども行いました。

なお、当局の調達部という組織には、大規模な地震の際、被災した自衛隊施設の応急危険度判定を行う技術系職員も在籍しています。

また、昨年12月に青森県三沢市で発生しました鳥インフルエンザでは、過去最多規模のおよそ137万羽のニワトリの殺処分が行われましたが、その際、当局が管理している三沢基地周辺の土地の使用許可を速やかに行いました。

このように、各種事態や災害などに備えて、当局の役割や具体的な活動内容を踏まえた業務の要領を整備しています。

【パーソナリティー】

なるほど。では、三つ目はよく耳にする政策広報ですか？

【橋本】

はい、その通りです。防衛政策について、地方公共団体や地域住民の皆様にご理解いただくために、いろいろな方法で広報しています。

防衛セミナーの開催や防衛白書の説明など、度々このラジオでも、ご紹介してきましたが、まさにこれらは政策広報になります。

昨年12月に策定された「国家安全保障戦略」、「国家防衛戦略」、「防衛力整備計画」のいわゆる防衛3文書についても、地方自治体への説明を行いました。

他にも自衛隊の駐屯地や基地の記念行事の機会を利用して、各種政策のパンフレットやオリジナルグッズを配布するなどして、防衛省・自衛隊の広報に努めています。

また、米軍基地が所在する市や町の地域住民と米軍関係者との交流を行う日米交流事業も毎年実施しています。

今年の1月には、青森県三沢市において、日米交流パラスポーツ運動会を実施しました。日米の児童と保護者による混合4チームを結成して、ボッチャや車椅子バスケットボール、車椅子リレーで勝敗を競いました。

3月には青森県東北町において、日米交流ひな祭りを開催して、日米の親子約50人が集まり、万華鏡や折り紙でひな人形を作ったり、琴や着付けの体験、餅つきで交流を深めました。

なお、今年の7月には、青森県つがる市において、かかし作りを通じた交流プロジェクトを現在計画して、米軍人と地元の小学生と一緒に「かかし」を制作する予定です。

それぞれの活動の様子などは、当局のホームページにも掲載していますので、ぜひご覧になってみて下さい。

【パーソナリティー】

地方協力確保事務は多岐に渡って、幅広く行われていることがわかりました。

ところで、佐藤さんは3つの業務のうち、どんな業務を担当しているのですか？

【佐藤】

はい、私は、室長が3つ目にお話した政策広報をメインで担当しています。

先日は、陸上自衛隊の神町駐屯地と多賀城駐屯地の創立記念行事にて、広報活動を行ってきました。東北防衛局のブースを設置して、お越しいただいた皆様に防衛白書のパンフレットや広報誌などを配布いたしました。

ブース内では、防衛3文書に関連するパネルを展示しまして、クイズ形式の問題を用意し、全問正解の方にはオリジナルの缶バッジを進呈しました。

缶バッジは、私が一つ一つ愛情を込めて作製したものですので、お越しいただいた皆様に喜んでもらえてとてもうれしかったです。

今後も出来るだけ多くの自衛隊記念行事などに参加したいと思っておりますので、東北防衛局の「のぼり」を見かけたら是非お立ち寄り下さい。

【パーソナリティー】

缶バッジは手作りなのですね。私も欲しくなりました。

【佐藤】

私はこれまで、地域の皆様と関わる機会が少ない後方支援的な業務を行って参りました。今年の4月に政策広報の担当となりましたので、是非、地域の皆様と関わりながら、最前線で当局の役割を学び、任務

を全うしたいです。

防衛セミナーの開催や防衛白書の地元への説明会、それから日米交流事業については、これから経験していくことになりますので、今からとても楽しみにしています。機会がありましたら、また、このラジオにも出演したいです。

【パーソナリティー】

最後に、橋本室長から、お知らせすることがありますか？

【橋本】

はい。実は先月、東北防衛局では、ツイッターを開設したんです。

これまで情報発信は、ホームページや広報紙が中心でしたが、ツイッターでも積極的にイベント情報や採用情報などを発信していきますので、ラジオをお聞きの皆様に「東北防衛局広報チーム(TDB_sns)」というアカウントをフォローしていただければ嬉しいです。

ぜひ、よろしくお願いします。

【パーソナリティー】

本日は、地方協力確保事務について、橋本室長と佐藤さんにお話をお聞きしました。ありがとうございました。

【橋本・佐藤】

ありがとうございました。

【パーソナリティー】

このコーナーでは、よりよい内容にしていくため、ラジオをお聞きの皆さまからご意見・ご感想を募集しております。お聞きのコミュニティ放送局までご連絡ください。